≪全日本中学校長会≫　　令和７年５月１日（木）

５月 会長メモ

会長　青海　正

令和７年度が始まり、早一ヶ月が過ぎようとしております。各学校においては、本年度の学校経営計画に基づいての学校経営が順調にスタートしたことと存じます。この時期は、新入生も徐々に中学校生活に慣れるとともに、疲れも出てくる頃だと思います。教員にとっては、大型連休も部活動の試合や練習などで多忙な日々になることも多々あります。教職員の健康管理にも十分心配りをしていきたいものです。

全体幹事会の開催について

４月 14 日(月)に、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、平成７年度全体幹事会を開催いたしました。各部長・副部長・幹事の皆様にそれぞれの業務を委嘱しました。会の冒頭の挨拶でも申し上げましたが、各部の部長・副部長そして各部幹事や委員会の委員の皆様による取組みが、全日中の諸活動を支えています。ご自身の学校経営だけでもご苦労されていることと十分承知しておりますが、それに加えて全日中の諸事業の推進ということにお取り組みいただくことに、心より感謝を申し上げます。日本の中学校教育の充実・発展と、将来ある中学生のために、どうぞお力添えをいただければ幸いです。また、各部の皆様には今月 15 日(木)、16 日(金)に開催される総会の準備を進めていただいておりますが、総会を以て、実質的な令和７年度の全日中のスタートとなります。総会の午後には、皇居特別参観が行われる予定です。

デジタル教科書推進 WG 中間まとめに関する書面での意見提出について

中教審のデジタル教科書推進ワーキンググループは、令和７年２月に「中間まとめ」を公表しました。全日中では、その「中間まとめ」対して、先月意見を文科省に提出しました。例えば、①紙かデジタルかといった「二項対立」ではなく、互いに補完し合うものとして紙、デジタル、リアルを組み合わせることが現実的である。当面の間、現行の紙とデジタルの併用を継続することに賛成である。スウェーデンのデジタル化の見直しについては、更なる状況調査による検証・分析が必要であり、国としてのその見解を述べる必要がある。②デジタル教科書導入にあたっては、生徒の視力低下などの健康被害が不安視されている。国は、健康面で安全であることの科学的根拠を明確に示し、デジタル教科書導入の安全性を検証する必要がある。③「デジタル教科書を使う」ことと「デジタル教科書を使って教える（授業をする）」ことは 同様ではない。活用することを目的とするのではなく、有効な活用による、生徒の資質・能力の向上を目指した取組を進めるために、十分な研修等、操作の習熟や、具体的な活用方法を教員が身に付ける時間的、人的な支援が不可欠である。等々です。（※全文は本会 HP をご覧ください。）

全国学力・学習状況調査 CBT 化を目指した中学校理科の実施について

文科省は、中学３年生を対象に毎年４月に実施している全国学力・学習状況調査について、学習用端末を使い、コンピュータを用いた試験方式（CBT）に全面移行させる方針を固め、今回の調査におきまして初めて CBT を導入いたしました。今年度は中学校理科を CBT 方式で、４月 17 日迄の４日間で実施しました。その他の教科は、従来どおり紙の冊子を用いて 17 日に実施しました。

また、CBT の導入によりまして、動画の利用など多様な出題が可能になりました。CBT で実施する調査は、18 日以降は自宅など学校外での実施も可能とし、長期欠席の生徒等も調査に参加できるようになりました。来年度の中学英語はすべてを CBT で行う予定です。学力調査は、小中学生約 200 万人が対象で、国語と数学は毎年度、理科と英語は原則、３年に１回行われます。英語では令和５年度に「話す」テストで先行実施しましたが、令和８年度は「読む」「書く」「聞く」の調査も CBT で行います。令和９年度以降は、国語と数学にも拡大します。CBT で動画や音声も取り入れた幅広い出題が可能となり、蓄積できる生徒のデータ量も増えることから、指導の充実につなげられる利点があります。一方、CBT への全面移行は、学校のネットワーク環境の改善が課題となり、令和５年の調査では、全国の公立学校の８割は、文科省が推奨するインターネットの通信速度を満たしていませんでした。令和５年度に実施された英語の「話す」テストでは、機器の不具合などで、調査を受けた生徒のうち、約１割の音声が正常に録音、登録されていませんでした。今回は、学校ネットワークのサーバー不具合などで 0.5%に当たる 45 校が調査実施日に行えなかったと発表されました。今年度の調査を終え、全国の学校現場ではどのようなご感想をもたれたことでしょうか？

春の園遊会について

４月 22 日（火）、都会の中心ながら、緑豊かな赤坂御苑（東京都港区）で開かれた天皇、皇后両陛下主催の春の園遊会に、全日本中学校長会会長として出席させていただきました。衆・参両院の議長・副議長・議員、内閣総理大臣・国務大臣、最高裁判所長官・判事、その他の認証官など立法・行政・司法各機関の要人、都道府県の知事・議会議長、市町村の首長・議会議長、各界功績者とそれぞれの配偶者約 1,400 人が招待されました。時折、強く日が差す中、60 年余り続いてきた形を変えて、皇室の方々が複数のコースに分かれて歩かれ、歩みを進めながら、ルート沿いに集まる招待者と言葉を交わされました。私も天皇、皇后両陛下、長女愛子さまや、秋篠宮ご夫妻、佳子さま、三笠宮家の彬子さま、高円宮家の長女承子さまをはじめとする皇族方皆様とお話することができました。天皇、皇后両陛下をはじめ、皇族の皆様の穏やかなお人柄、満面の笑顔、丁寧で誠実な気配りと心配り、まさに珠玉の時間、夢のようなひと時でした。

４月の各教育関連団体の活動について

４月に各教育関連団体等の活動について、以下のとおり参加しておりますので参考までに紹介させていただきます。

名　　称	開催日	出席
中教審教育課程教員養成部会 148 回	４月　７日（月）	会長
中教審教育課程企画特別部会（５回）	４月 10 日（木）	会長
日本中体連とカンコ―学生服との包括連携協定調印式	４月 10 日（木）	会長
部活動改革実行会議（スポーツ庁・文化庁）	４月 17 日（木）	会長
春の園遊会（赤坂御苑）宮内庁	４月 22 日（火）	会長
東京都中学校長会総会顕彰式（東大和市民会館）	４月 24 日（木）	会長
中教審教育課程企画特別部会（６回）	４月 25 日（金）	会長